

家庭学習のてびき (保護者用)

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにとても大切なものです。

小学校のうちに机に向かう習慣が後々の家庭学習に大きな影響を与えます。今のうちに身につけさせましょう。



1 家庭学習のさせ方

- ① 担任から出る「宿題」を最初にさせましょう。
- ② 時間が余ったら、「家庭学習のてびき」の中から選んでみましょう。
(5・6年生は「家庭学習のてびき」を参考にして自分で考えてもよいでしょう。)
- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵かきでも何でも構いませんので(特に低学年)、必ず机に向かうようにしましょう。「机に向かう」という習慣が大切です。
- ④ 勉強が終わったら、次の日の準備をしましょう。

2 時間のめやす

1年生・・・10分以上 2年生・・・20分以上
3年生・・・30分以上 4年生・・・40分以上
5年生・・・50分以上 6年生・・・60分以上

3 家庭学習における保護者の役割

① 学習時間の確保

塾、習いごと、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身に付けるようにしましょう。

「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合っただけで無理のないように時間設定をしましょう。

② 学ぶための環境づくり

お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように、家庭で工夫したり話し合ったりしてください。(例えば、テレビをつけながら勉強しても効果は上がりません。)

③ 見届け・励まし

お子さんが学習したことにできるだけ目を通し、声をかけてください。ほめたり励ましたりすることで、お子さんはどんどんやる気を出します。